

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2015年第22週
(5月25日～5月31日)

- * 2015年6月3日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「デング熱—診断と治療」も掲載しています。

平成27(2015)年6月4日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2015年22週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		19週	20週	21週	22週	年累計	22週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	31	85	79	66	1,470	387	9,551
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*3}							
三類	コレラ						1	4
	細菌性赤痢	2	3			21	2	53
	腸管出血性大腸菌感染症			5	5	29	62	523
	腸チフス			1		7		20
	パラチフス				1	4	1	15
四類	E型肝炎			1		13	1	79
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	2	1	2	1	20	2	121
	エキノコックス症					1		8
	黄熱							
	オウム病							3
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*4}						2	13
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱		1	1		4		6
	つつが虫病					1	5	50
デング熱	1	1	2		26	2	94	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*3 2013年より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*4 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		19週	20週	21週	22週	年累計	22週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						7	33
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症			1		1		3
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア		1			4	1	11
	野兔病							
	ライム病							2
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	1	1	2	2	37	41	453
レプトスピラ症		1			5		5	
ロッキー山紅斑熱								
2015/6/3集計								

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 66件 肺結核 33件、その他の結核 9件、肺結核及びその他の結核 5件、無症状病原体保有者 19件、年齢は10歳未満 3件(うち5歳未満 1件)、10代 2件、20代 11件、30代 5件、40代 3件、50代 10件、60代 10件、70代 7件、80代 13件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 57件、インド 1件、インドネシア 1件、タイ 1件、モンゴル 1件、国内又はフィリピン 1件、国内又は中国 1件、国内又は国外(渡航先不明) 3件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 5件 患者 5件、血清型・毒素型はO145 VT2 1件、O157 VT1・VT2 1件、O157 VT2 1件、血清型不明VT1・VT2 1件、血清型不明VT2 1件、年齢は10代 1件、20代 1件、30代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は経口感染 4件、不明 1件であった。

パラチフス 1件 患者、年齢は60代、推定感染地はミャンマー、推定感染経路は経口感染又は接触感染であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 1件 患者、年齢は10代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

レジオネラ症 2件 病型は肺炎型 2件、年齢は60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は不明 2件であった。

※ 第21週該当分として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症 1件、〔四類〕レジオネラ症 1件の追加報告があった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2015年22週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		19週	20週	21週	22週	年累計	22週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	1	4	2	5	74	22	428
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）		2	1	3	21	4	90
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 *2	2	3	6	2	63	23	518
	急性脳炎 *1		2	1	2	26	8	229
	クリプトスポリジウム症					2		6
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	10	4	71
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	1	1	33	4	208
	後天性免疫不全症候群	7	7	11	10	171	12	545
	ジアルジア症		2		1	8	1	34
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1		11	5	107
	侵襲性髄膜炎菌感染症			1	1	6	1	16
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	10	12	8	167	31	1,205
	水痘(入院例に限る) *2		2	2		16	3	111
	先天性風しん症候群							
	梅毒	17	24	25	18	360	36	857
	播種性クリプトコックス症 *2					3		49
	破傷風					1	3	34
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	1	1	23
風しん		1			15	2	79	
麻しん				1	7	2	21	
薬剤耐性アシネトバクター感染症 *2		1	1	1	4	1	13	
2015/6/3集計								

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、バネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2014年9月19日より新たに追加指定された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

（五類感染症）

アメーバ赤痢 5件 病型は腸管 3件、腸管外 2件、年齢は30代 1件、40代 2件、60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は性的接触 2件（異性間 1件、性別不明 1件）、経口感染 1件、不明 2件であった。

ウイルス性肝炎 3件 B型 1件、C型 2件、年齢は20代 3件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路はB型は異性間性的接触、C型は同性間性的接触 2件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2件 患者 2件、病原菌はエンテロバクター・アエロゲネス 1件、エンテロバクター・クロアカ 1件、年齢は60代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は医療器具関連感染 2件（尿路カテーテル 1件、人口呼吸器 1件）、90日以内の海外渡航歴は無し 2件であった。

急性脳炎 2件 病原体不明 2件、年齢は5歳未満 1件、10代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 古典型CJD、年齢は80代であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 感染症死亡者の死体、血清群はA群、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

後天性免疫不全症候群 10件 AIDS 4件、無症候キャリア 5件、その他 1件、AIDS患者の年齢は20代 1件、30代 2件、40代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 4件、30代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 8件、不明 2件、推定感染経路は同性間性的接触 9件、不明 1件であった。

ジアルジア症 1件 年齢は30代、推定感染地はインド又はネパール、推定感染経路は経口感染であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症 1件 血清型は検査未実施、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、共同生活は無しであった。

侵襲性肺炎球菌感染症 8件 血清型は検査未実施 7件、記載なし 1件、年齢は5歳未満 3件、30代 2件、40代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 8件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、飛沫・飛沫核感染又は中耳炎 1件、不明 5件、肺炎球菌ワクチン接種歴は7価4回接種済み 2件、13価3回接種済み 1件、無し 3件、不明 2件であった。

梅毒 18件 先天梅毒 1件、早期顕症梅毒Ⅰ期 5件、早期顕症梅毒Ⅱ期 7件、無症候梅毒 5件、年齢は5歳未満 1件、20代 7件、30代 2件、40代 7件、50代 1件、推定感染地は国内 18件、推定感染経路は性的接触 17件（同性間 5件、異性間 11件、性別不明 1件）、母子感染 1件であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 遺伝子型は不明、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

麻しん 1件 検査診断例、年齢は40代、推定感染地はモンゴル、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、麻しん含有ワクチン接種歴は無しであった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症 1件 患者、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は院内感染、90日以内の海外渡航歴は無しであった。

※ 第21週で報告のあった〔五類〕風しん 1件は削除された。

※ 第20週該当分として〔五類〕急性脳炎 1件の追加報告があった。

※ 第21週該当分として〔五類〕後天性免疫不全症候群 1件、水痘(入院例) 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2015年22週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2015年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		19週	20週	21週	22週		
小児科	RSウイルス感染症	11 0.04	15 0.06	18 0.07	15 0.06	261	264
	咽頭結膜熱	88 0.33	139 0.53	183 0.70	243 0.93		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	443 1.68	1,092 4.14	1,070 4.12	1,107 4.24		
	感染性胃腸炎	1,024 3.88	1,766 6.69	1,882 7.24	1,911 7.32		
	水痘	141 0.53	154 0.58	127 0.49	171 0.66		
	手足口病	64 0.24	85 0.32	148 0.57	270 1.03		
	伝染性紅斑	153 0.58	331 1.25	290 1.12	313 1.20		
	突発性発しん	122 0.46	189 0.72	209 0.80	219 0.84		
	百日咳	4 0.02	8 0.03	4 0.02	10 0.04		
	ヘルパンギーナ	18 0.07	21 0.08	50 0.19	56 0.21		
	流行性耳下腺炎	66 0.25	69 0.26	74 0.28	68 0.26		
	川崎病 *1	4 0.02	2 0.01	1 0.00	3 0.01		
	不明発しん症 *1	21 0.08	11 0.04	14 0.05	29 0.11		
	インフルエンザ	96 0.23	71 0.17	52 0.13	36 0.09		
眼科	急性出血性結膜炎					38	39
	流行性角結膜炎	12 0.31	25 0.64	11 0.28	18 0.47		
基幹	細菌性髄膜炎 *3	3 0.12		2 0.08	2 0.08	25	25
	無菌性髄膜炎				1 0.04		
	マイコプラズマ肺炎	5 0.20	6 0.24	5 0.20	7 0.28		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1 0.04			1 0.04		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	7 0.28	2 0.08	4 0.16			
	インフルエンザ入院	1 0.04	1 0.04				

2015/6/3集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ 伝染性紅斑、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、過去5年平均を超えた状態が続いている。
- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年平均以上、昨年と同程度の規模となっている。
- ・ 手足口病の定点当たり報告数はやや増加し、例年よりも早い時期に流行する可能性がある。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2015年22週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	2	1		21	1			6			
6～11か月	7	29	9	164	8	25	6	69	1	5	
1歳	5	80	34	252	10	95	12	102	1	17	2
2歳	1	28	49	183	20	58	37	29		14	2
3歳		35	124	181	18	33	44	3		3	7
4歳		27	155	191	24	21	47	3		5	13
5歳		13	151	134	16	14	49	2		2	10
6歳		13	122	136	31	4	37	2		3	8
7歳		4	130	88	17	3	31	1		2	10
8歳		4	93	88	11	5	17		1	2	4
9歳		1	61	66	9	1	15	1	1		6
10～14歳		1	116	153	6	4	10	1		2	6
15～19歳		1	9	25			2				
20～29歳		6	54	229		7	6		6	1	
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	15	243	1,107	1,911	171	270	313	219	10	56	68
先週比	-3	60	37	29	44	122	23	10	6	6	-6

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月			1			1					
6～11か月		6									
1歳	1	10	2								
2歳		5			1						
3歳		1									
4歳	2	1	2								
5歳		2			1			1			
6歳		2	1		1						
7歳			1								
8歳		1	3								
9歳								1			
10～14歳		1	10					3			
15～19歳			2								
20～29歳			1		2						
30～39歳			4		2	1					
40～49歳			5		5		1				
50～59歳			2		4						
60～69歳			1		2			1			
70～79歳			1								
80歳以上								1	1		
合計	3	29	36		18	2	1	7	1		
先週比	2	15	-16		7		1	2	1	-4	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2015年22週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田		0.33		1.33			0.33				
中央区		2.67	5.33	7.33	0.67	1.00	0.67	0.67			
みなと	0.17	3.83	5.17	4.50	0.33	0.83	0.33	0.83	0.17	0.17	0.67
新宿区	0.38	1.00	1.75	4.50		0.25	0.25	0.75		1.13	
文京		0.50	0.75	2.75	2.75	0.50	0.25	1.75			0.75
台東		1.75	2.75	10.75	0.50	0.50	1.50	1.00			
墨田区		0.40	3.20	4.40	0.20	0.20	1.80	0.60		0.40	0.20
江東区		0.33	5.89	10.67	1.00	1.44	0.56	1.44		0.11	0.22
品川区		0.63	2.50	5.50	0.38	0.38	0.63	1.25			
目黒区		0.80	5.00	7.40		0.80	1.40	0.40		0.20	
大田区	0.08	3.08	4.77	10.62	0.46	2.08	1.08	1.15	0.08	0.15	0.46
世田谷	0.06	0.88	4.31	6.25	1.19	1.50	0.88	0.38		0.19	0.25
渋谷区			0.75	4.00	0.25	0.50	0.50	0.50			
中野区		0.83	1.50	11.50	1.50	0.67	1.17	0.50		0.17	
杉並		0.36	2.73	5.36	0.36	0.45	0.27	0.55		0.18	
池袋		0.25	1.00	2.25	0.25	1.25	1.25			0.25	0.25
北区		0.14	3.14	4.00	0.14	3.71	0.71	0.86		0.14	
荒川区	0.50	0.75	6.00	5.00		1.75	3.50	0.75	0.25	0.75	
板橋区	0.30	0.30	1.10	4.30	0.20	0.80	1.90	0.60	0.20		0.40
練馬区		1.15	4.85	7.31	0.92	1.08	1.69	0.69		0.23	0.54
足立	0.08	1.08	4.77	9.08	0.54	0.69	1.62	0.62		0.23	0.23
葛飾区		0.25	2.75	6.50	0.88	0.50	1.25	1.00			0.38
江戸川		0.92	3.17	7.67	0.25	3.08	0.92	0.50		0.58	0.58
八王子市	0.09	1.36	5.64	11.82	2.64	0.91	1.55	1.18	0.18	0.09	0.64
町田市		0.13	7.38	9.13	0.50	0.50	0.88	1.25		0.13	0.38
西多摩		0.63	2.25	6.63	0.75	1.50	0.88	1.25	0.13	0.13	0.38
南多摩		0.89	8.56	6.22		0.44	1.89	0.78		0.11	0.33
多摩立川	0.07	0.14	3.79	8.57	0.71	0.50	1.00	0.79			0.14
多摩府中	0.05	0.63	5.84	7.84	0.63	0.89	2.32	0.95	0.05	0.47	0.16
多摩小平		1.60	7.93	9.93	0.53	0.60	1.33	1.33	0.07	0.20	0.07
島しょ											1.00
東京都	0.06	0.93	4.24	7.32	0.66	1.03	1.20	0.84	0.04	0.21	0.26

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田		0.33	0.25								
中央区			0.40		1.00						
みなと			0.11								
新宿区	0.13		0.17								
文京					1.00						
台東											
墨田区		0.20	0.63								
江東区			0.07		1.00						
品川区		0.13									
目黒区		0.20	0.25								
大田区		0.23									
世田谷		0.31	0.08		0.50	0.50		0.50			
渋谷区			0.29		1.00						
中野区			0.10		1.00						
杉並			0.12		1.00						
池袋	0.25		0.14								
北区											
荒川区											
板橋区		0.10						1.00			
練馬区	0.08		0.10		2.00						
足立			0.20		0.50						
葛飾区		0.13	0.08						1.00		
江戸川		0.17									
八王子市		0.27	0.06		0.50						
町田市		0.75	0.08								
西多摩			0.14					3.00			
南多摩											
多摩立川											
多摩府中		0.05	0.06		1.00	0.33		0.67			
多摩小平		0.20	0.04		1.50		0.50				
島しょ											

東京都	0.01	0.11	0.09		0.47	0.08	0.04	0.28	0.04		
-----	------	------	------	--	------	------	------	------	------	--	--

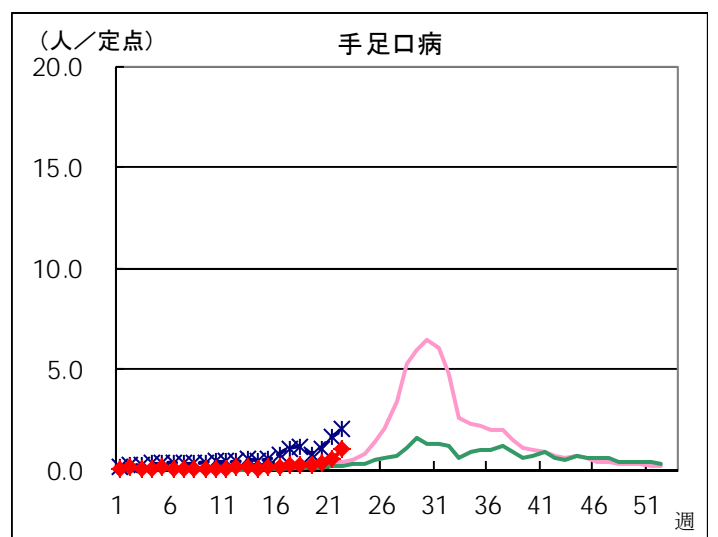
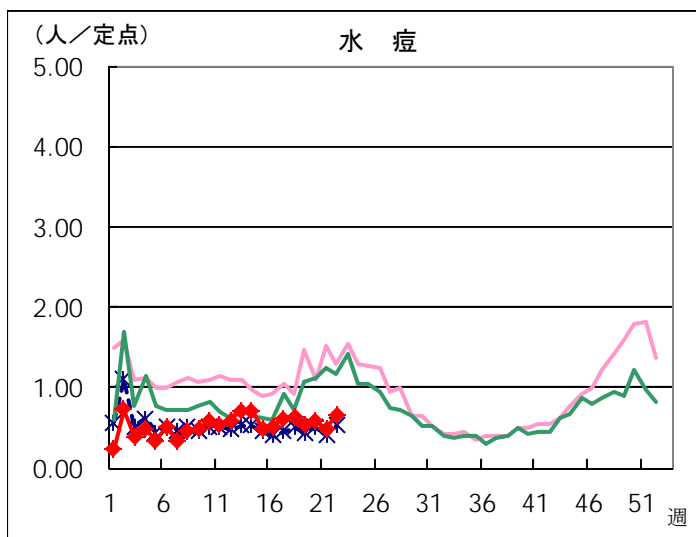
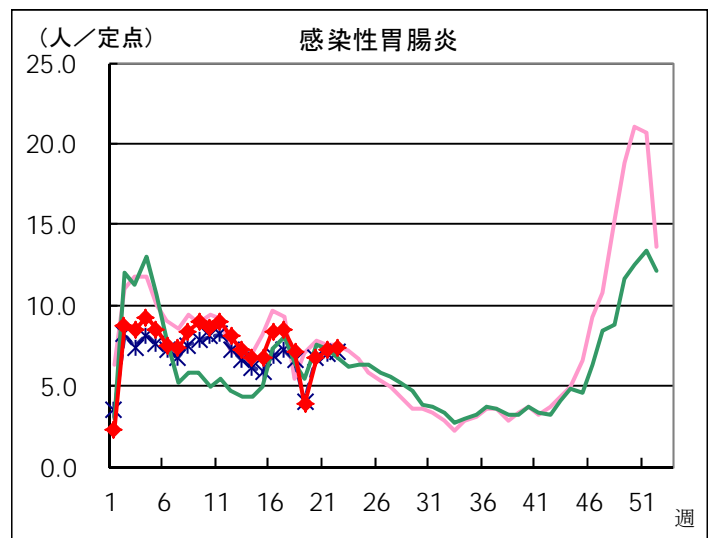
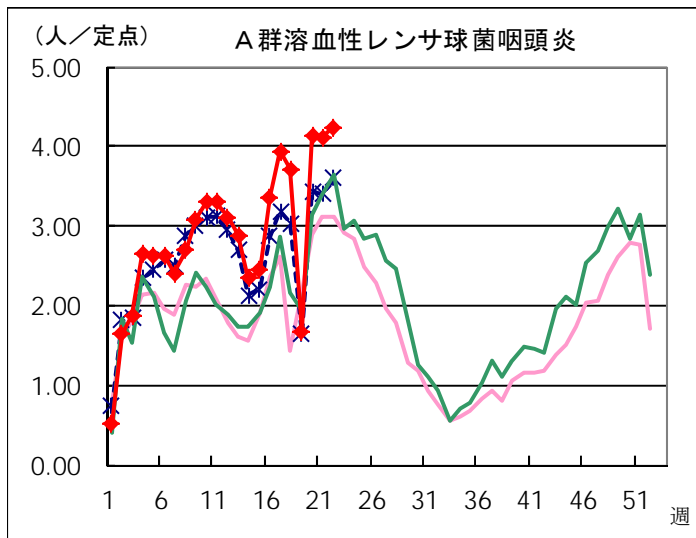
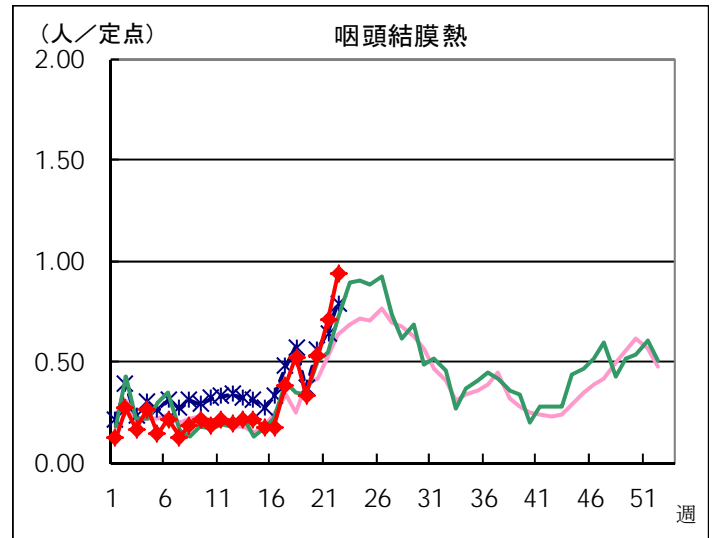
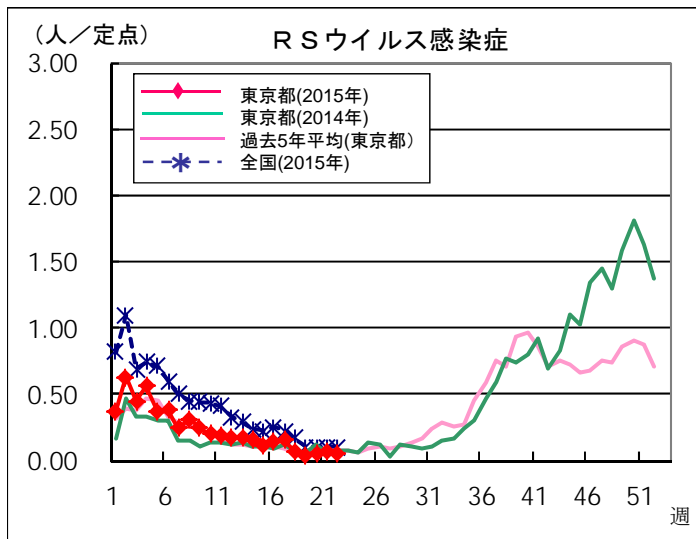
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2015年22週

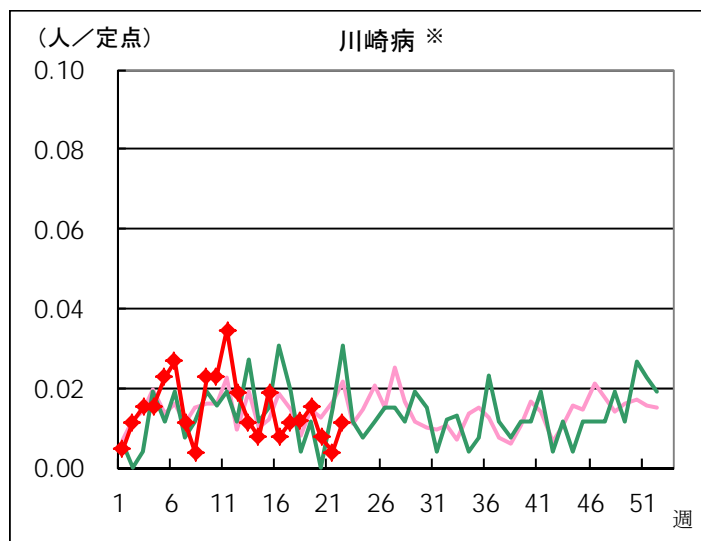
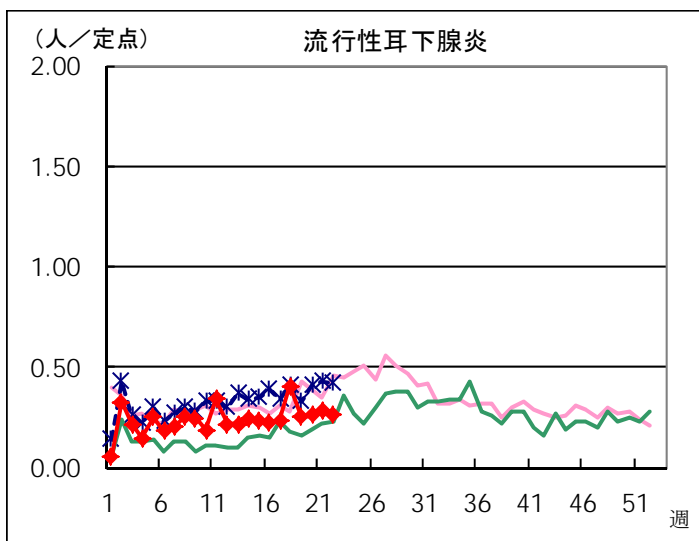
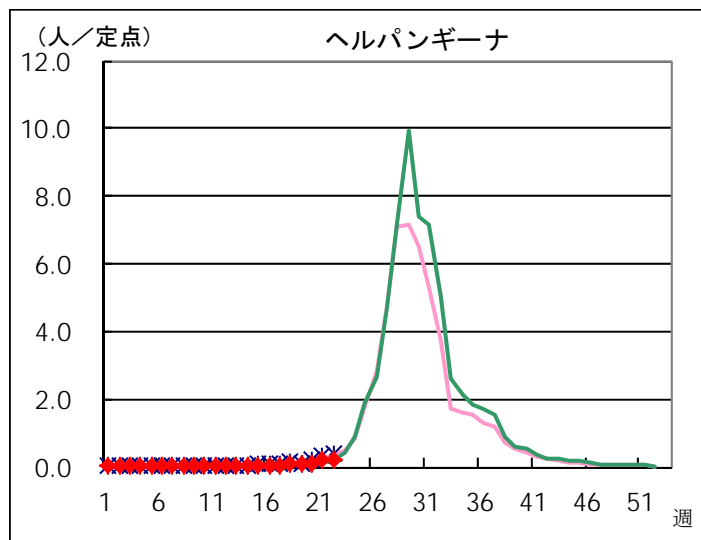
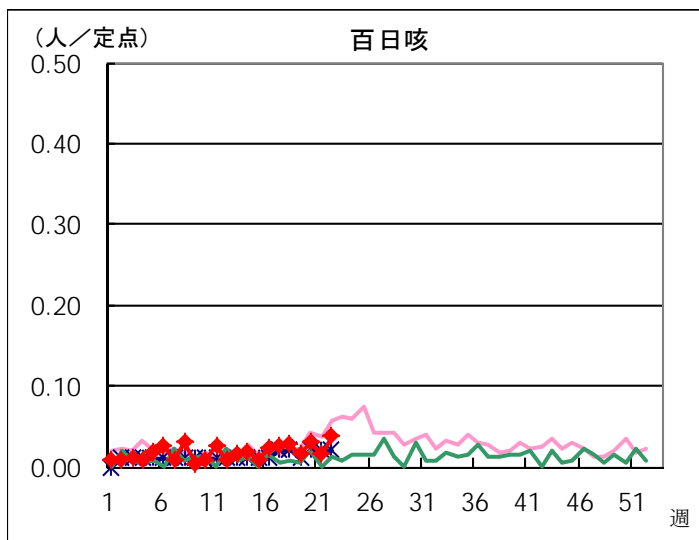
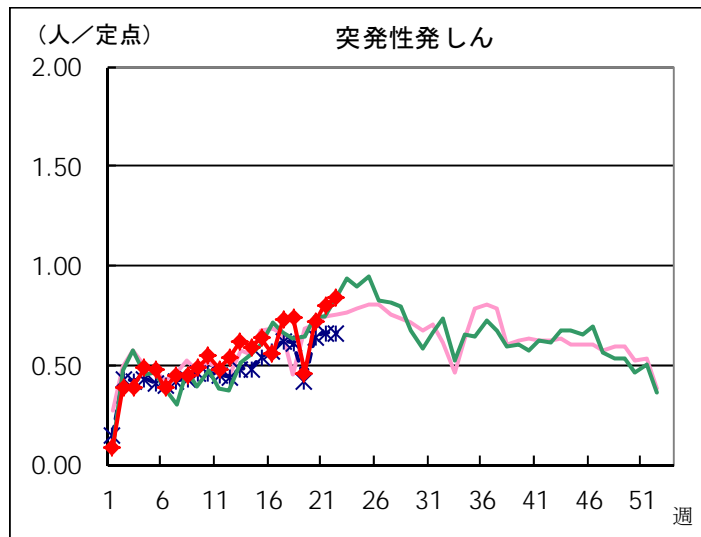
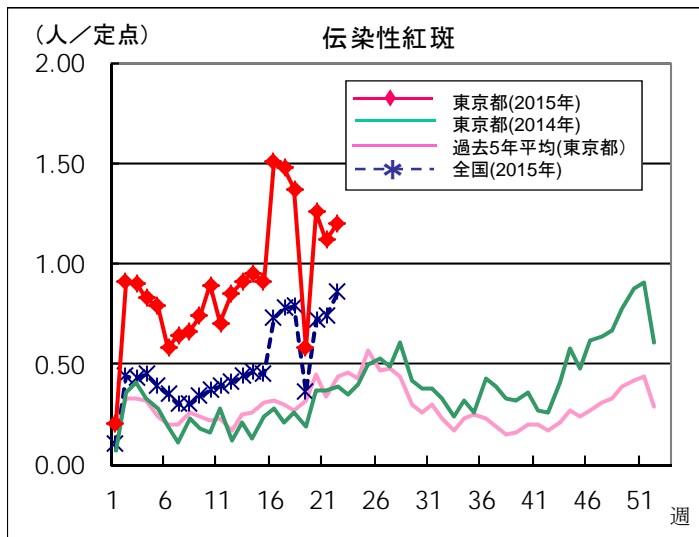
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田		1		4			1				
中央区		8	16	22	2	3	2	2			
みなと	1	23	31	27	2	5	2	5	1	1	4
新宿区	3	8	14	36		2	2	6		9	
文京		2	3	11	11	2	1	7			3
台東		7	11	43	2	2	6	4			
墨田区		2	16	22	1	1	9	3		2	1
江東区		3	53	96	9	13	5	13		1	2
品川区		5	20	44	3	3	5	10			
目黒区		4	25	37		4	7	2		1	
大田区	1	40	62	138	6	27	14	15	1	2	6
世田谷	1	14	69	100	19	24	14	6		3	4
渋谷区			3	16	1	2	2	2			
中野区		5	9	69	9	4	7	3		1	
杉並		4	30	59	4	5	3	6		2	
池袋		1	4	9	1	5	5			1	1
北区		1	22	28	1	26	5	6		1	
荒川区	2	3	24	20		7	14	3	1	3	
板橋区	3	3	11	43	2	8	19	6	2		4
練馬区		15	63	95	12	14	22	9		3	7
足立	1	14	62	118	7	9	21	8		3	3
葛飾区		2	22	52	7	4	10	8			3
江戸川		11	38	92	3	37	11	6		7	7
八王子市	1	15	62	130	29	10	17	13	2	1	7
町田市		1	59	73	4	4	7	10		1	3
西多摩		5	18	53	6	12	7	10	1	1	3
南多摩		8	77	56		4	17	7		1	3
多摩立川	1	2	53	120	10	7	14	11			2
多摩府中	1	12	111	149	12	17	44	18	1	9	3
多摩小平		24	119	149	8	9	20	20	1	3	1
島しょ											1
東京都合計	15	243	1,107	1,911	171	270	313	219	10	56	68

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田		1	1								
中央区			2		1						
みなと			1								
新宿区	1		2								
文京					1						
台東											
墨田区		1	5								
江東区			1		1						
品川区		1									
目黒区		1	2								
大田区		3									
世田谷		5	2		1	1		1			
渋谷区			2		1						
中野区			1		1						
杉並			2		1						
池袋	1		1								
北区											
荒川区											
板橋区		1						1			
練馬区	1		2		4						
足立			4		1						
葛飾区		1	1						1		
江戸川		2									
八王子市		3	1		1						
町田市		6	1								
西多摩			2					3			
南多摩											
多摩立川											
多摩府中		1	2		2	1		2			
多摩小平		3	1		3		1				
島しょ											
東京都合計	3	29	36		18	2	1	7	1		

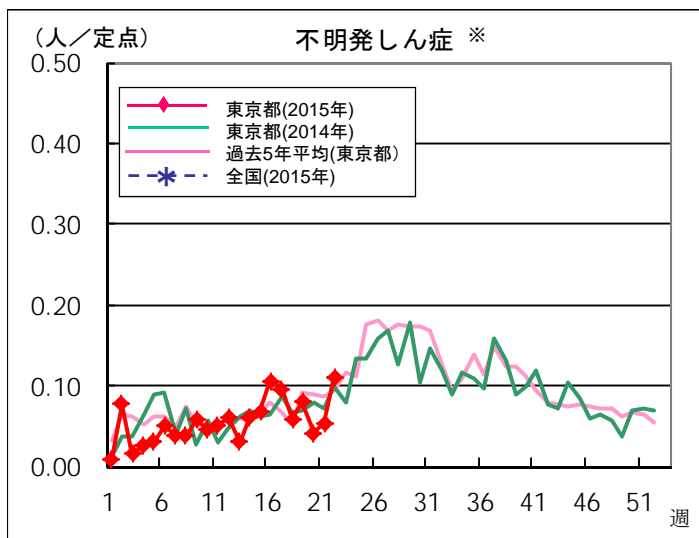
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2015年22週 現在)

◆ 小児科定点



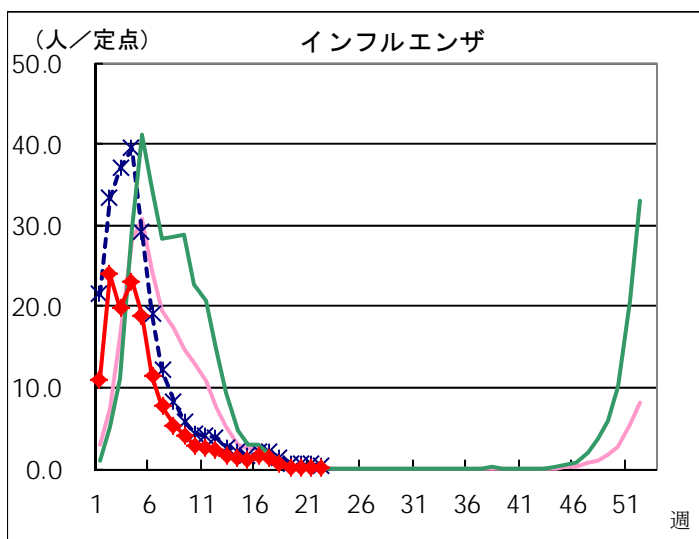


※ 東京都独自対象疾患

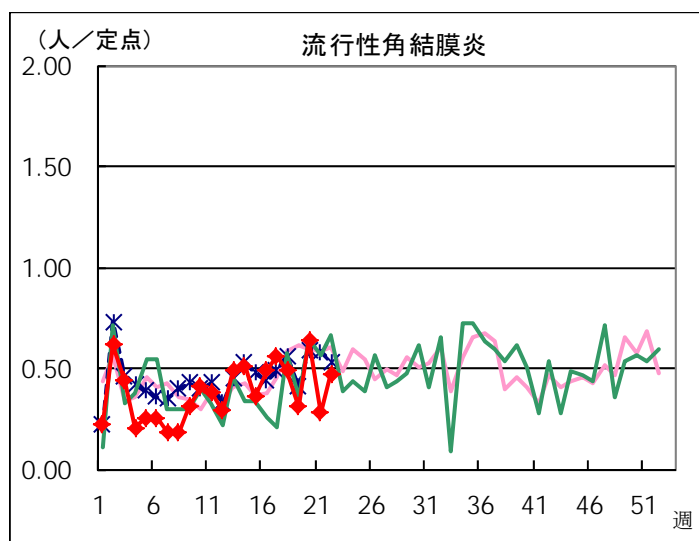
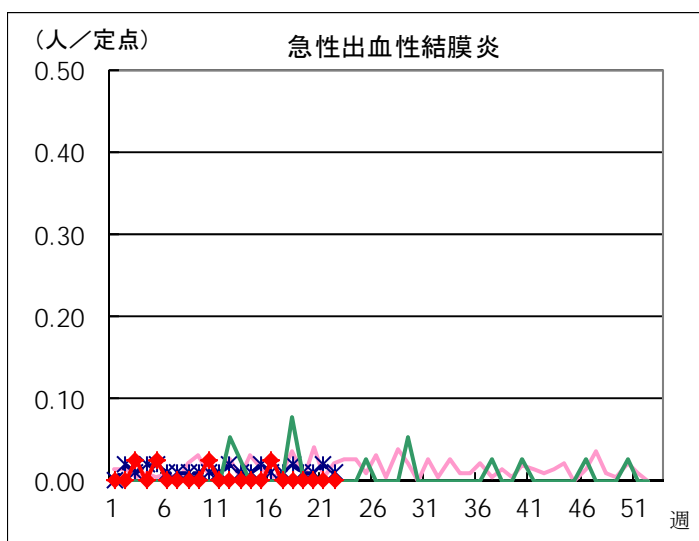


※ 東京都独自対象疾患

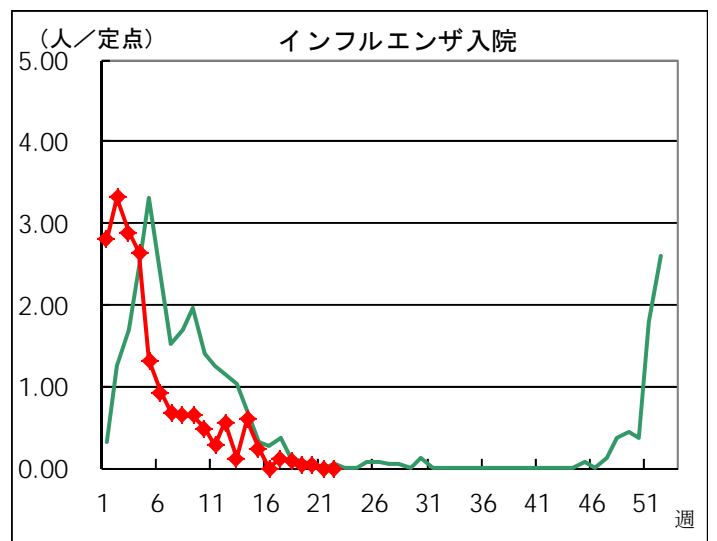
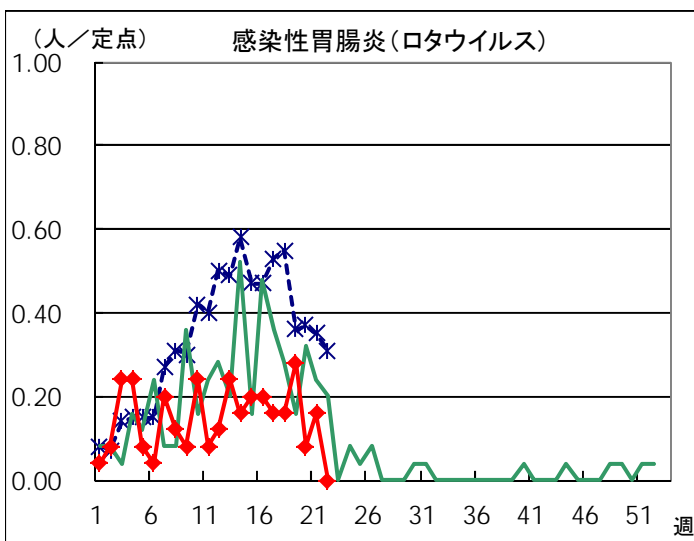
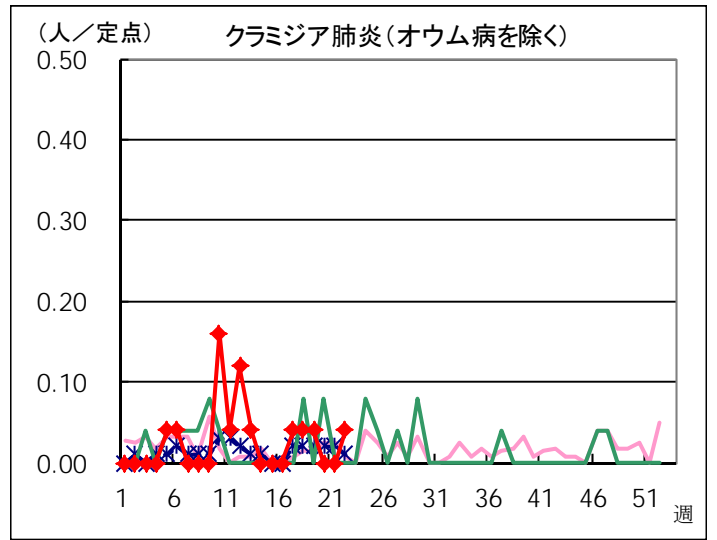
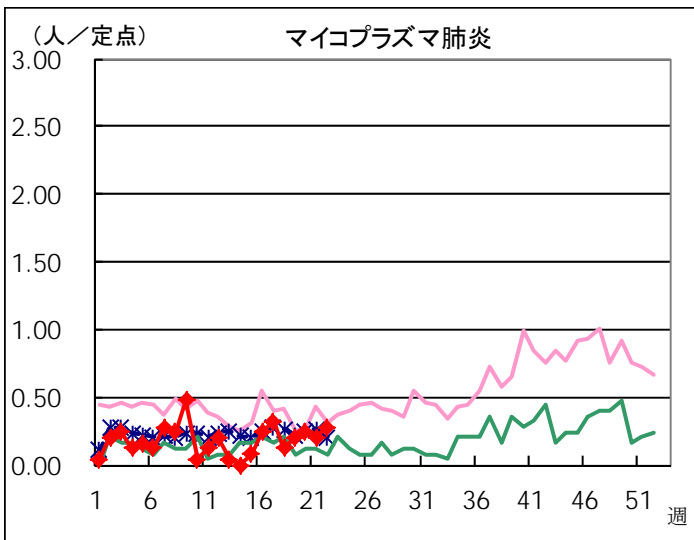
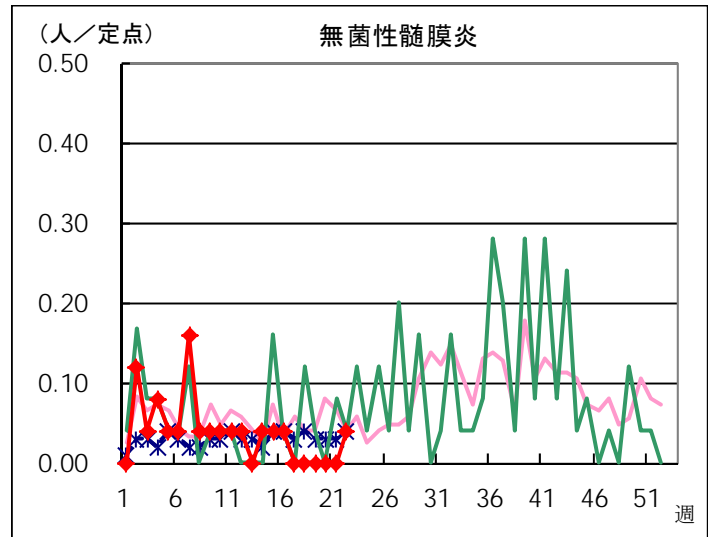
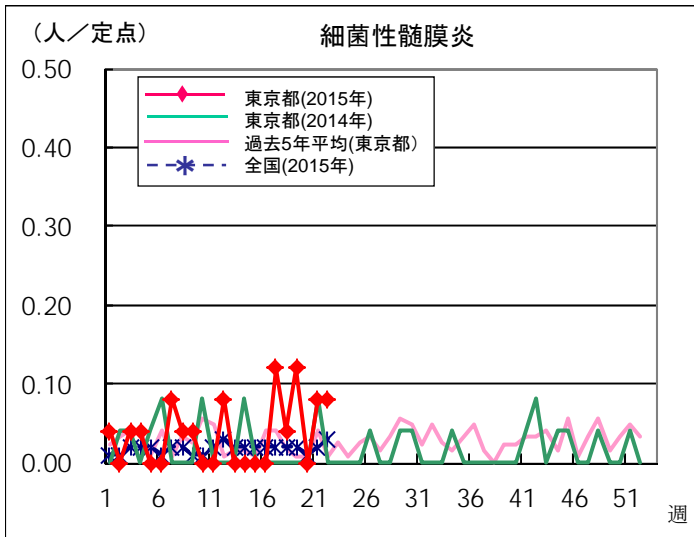
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
5/20	上気道炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス
5/15	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型
5/18	手足口病	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群6型
5/13	感染性胃腸炎	3	直腸拭い液	アデノウイルス
5/19	肺炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス
5/14	伝染性紅斑	4	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
5/13 5/14	無菌性髄膜炎	4	髄液 咽頭拭い液	エコーウイルス 9型
5/18	咽頭結膜熱	7	咽頭拭い液	アデノウイルス
5/13	感染性胃腸炎	7	直腸拭い液	A群ロタウイルス
5/18	手足口病	7	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群6型
5/22	流行性耳下腺炎疑い	33	咽頭拭い液	ムンプスウイルス EBウイルス
5/13	インフルエンザ疑い	51	咽頭拭い液	ライノウイルス

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2015年21週				2
2014-2015年 シーズン累計*	2		236	69

* 2014-2015年シーズンの開始は第36週(2014年9月1日～)

病原体検出情報 【週別】

検出病原体	2015年							
	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週
アデノウイルス	4		1	4	1		11	4
ライノウイルス	1		2	2		1	3	1
ポリオウイルス								
コクサッキーウイルスA群			1	1	2			2
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								2
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス					1	1	1	
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1	1	1	2		1	1
EBウイルス	1			3	1		1	1
サイトメガロウイルス		1					1	
ムンプスウイルス	2		1					1
麻疹ウイルス								
風疹ウイルス								
ヒトパルボウイルスB19	1			1			4	1
RSウイルス								
ノロウイルス	1	1		1			1	
ロタウイルス		1	1	2				1
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型	3	1	1	1	1			
インフルエンザウイルスB型	5	9	5	6	6		1	2
インフルエンザウイルスAH1pdm09								
デングウイルス								
その他のウイルス	2	2	1	2				
その他の病原体	1							

病原体検出情報【臨床診断名別】

2015年14週～2015年21週

	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他
搬入検体数	54	20	25	25	27	21	2	2	10	14	25	12	5			11
アデノウイルス		3	4	3	1	9	1		1	1		1				1
ライノウイルス	1	3	2						2			1	1			
ポリオウイルス																
コクサッキーウイルスA群									6							
コクサッキーウイルスB群																
エコーウイルス					2											
エンテロウイルス71																
その他のエンテロウイルス																
単純ヘルペスウイルス																
水痘・帯状疱疹ウイルス													3			
ヒトヘルペスウイルス6型・7型									1	1	5					
EBウイルス		3									1	2				1
サイトメガロウイルス												2				
ムンプスウイルス					1							3				
麻疹ウイルス																
風しんウイルス																
ヒトパルボウイルスB19										6	1					
RSウイルス																
ノロウイルス				4												
ロタウイルス				5												
インフルエンザウイルスAH1亜型																
インフルエンザウイルスAH3亜型	7															
インフルエンザウイルスB型	34															
インフルエンザウイルスAH1pdm09																
デングウイルス																
その他のウイルス		1	6													
その他の病原体				1												

<感染症豆知識>

デング熱—診断と治療

昨年の全国におけるデング熱の国内感染報告数は12月末までに162例となったが、その後冬を迎えるとともに流行は終息した。しかし気温の上昇とともに媒介蚊であるヒトスジシマカが発生し、今年も国内感染患者が発生する可能性がある。また昨年の流行により都民や医療関係者のデング熱に対する認識も高まり、診断に結びつく例も増える可能性もある。

そこで改めてデング熱の診断と治療を振り返る。一般の医療機関では感染を疑う場合には専門医療機関を紹介するか保健所に相談をお願いしたい。現在のところ保険適用される診断薬は市販されていない。^{*1}また4類感染症全数届出疾患に分類されるため診断した場合には直ちに届け出ることになっている(届出の詳細については厚生労働省のHPを参照)。

厚生労働省は昨年9月に「デング熱診療マニュアル(第1版)」^{*2}を公表したが、その後アップデートはない。治療は対症療法によるしかなく、水分補給や解熱剤の投与等となる。

なお既に広く知られるところとなったが解熱にはアスピリンの使用は禁忌であることに改めて注意してほしい。昨年の国内感染事例ではデング出血熱は1例のみで、ショック症状を伴う重症型デングの報告はなかった。なおワクチンについては昨年フランスのメーカーが南米におけるデング熱ワクチンの臨床試験結果を公表し、今年実用化を目指すとの報道もあったが、当面国内での販売予定はないようだ。

厚生労働省ではデング熱診療マニュアルの他、今年3月に一般ならびに医療機関・検査機関向けの「デング熱に関するQ&A」を公表^{*3}したので、こちらもご活用いただきたい。

今後はデング熱同様にヒトスジシマカによって媒介されるチクングニア熱の国内感染患者が発生する可能もある。発熱患者を診察する際には海外渡航歴あるいは蚊による刺咬について問診することを心掛けてほしい。

(文責：東京女子医科大学国際環境・熱帯医学教室主任教授 遠藤弘良)

○執筆後、変更となった下線部について下記に記載します。

※1 平成27年6月1日より、NS1抗原を測定する検査について、特定の保健医療機関に入院を要する場合に限り保険適応可能となった。

※2 平成27年5月22日より、「デング熱・チクングニア熱の診療ガイドライン」に改訂

※3 平成27年5月22日より、内容更新

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever.html